

# 回復期リハビリテーション病棟入院料1（実績）

対象期間：令和7年10月～令和8年3月

## 揭示事項

### ア 回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数

124 人

#### 回復期リハビリテーションを要する状態の区分内訳

- |   |   |      |
|---|---|------|
| 一 | 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血後のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態 | 51 人 |
| 二 | 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態  | 65 人 |
| 三 | 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態  | 6 人  |
| 四 | 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態   | 1 人  |
| 五 | 股関節又は膝関節の置換術後の状態  | 1 人  |

### イ 実績指数

50.11

リハビリテーション実績指数とは、回復期リハビリテーション病棟において、患者の日常生活動作（ADL）が入院期間中にどれだけ効率的に改善したかを数値化した指標です。数値が高いほど「短期間で大幅に機能が回復した」ことを示し、病院の質を評価する基準として用いられます。